

キク科 ガンクビソウ属

ガンクビソウ (雁首草)

Carpesium divaricatum Siebold et Zucc. var. *divaricatum*

自生環境

山地の林内

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



自生環境の山林は、ササの繁茂や不法投棄などで荒れている場所が多く見られます。また最近では山林の伐採が相次いでおり、現存する場所もいつ消滅するか分かりません。

特徴

☆ 山地の林内で、ややうす暗い場所に生える多年草です。同じ仲間のヤブタバコといっしょに生えていることもあります。より自然度の高い場所を好む傾向にあります。

☆ 草丈は30~100 cm ほどで、茎は上部でよく枝分かれます。夏から秋にかけて、茎の先に直径6~8mm ほどの丸い頭花（小さな花のあつまり）を1個つけます。茎は頭花の手前できゅっと曲がり、まるで煙管の雁首のようになります。頭花のすぐ下には2~4個の小さな苞葉が、えりまき状につきます。

☆ 秋から冬にかけ、長さ 3.5mm ほどの細長いタネが丸く集まってつきます。このタネはべたべたの粘液に覆われており、洋服や動物の体にくっついてあちこちに運ばれていきます。

市内の分布状況

市内の雑木林に自生しています。地図には比較的多い地域を示しました。



煙管の雁首に似ている？

煙管（きせる）はタバコを吸うために使われる道具で、日本では江戸時代に普及しました。煙管は長い柄（羅宇）の先に、煙草の葉を乗せる「火皿」があり、羅宇と火皿をつなぐ部分が「雁首」です。ガンクビソウは、茎の先に1個の頭花がつけますが、花の手前できゅっと茎が曲がり、横から見るとまるで雁首のように見えます。冬、葉が落ちた後のタネつきの枯れ枝は、特に煙管に似ています。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介！

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

